

協働ステーション中央
からのお知らせ

相手に伝わる企画が“書ける”
周りを本気にさせる企画づくり
全5回、18:30~20:30

【講師】五井潤利明
(NPO法人CRファクトリー事業局長)

田邊健史
(協働ステーション中央チーフコーディネーター)

【対象】中央区在住・在勤・在学の方、具体化
したいアイデア・企画をお持ちの方、区・企業
等との協働に興味がある方

【参加費】無料

【会場】協働ステーション中央

◆第1回(9/25):協働のポイント

地域活動における協働について、元行政担当
者の視点から協働のポイントを学びます。

◆第2回(10/9):団体の資源を可視化

団体の資源の可視化。誰に何の価値を提供
するかを整理し、意見交換から新たな気づきを得
ます。

◆第3回(10/23):企画書を作成する段取り

周りを巻き込む企画書を作成します。

◆第4回(11/6):発表資料、プレゼンの準備

プレゼンテーションに必要な事前準備について
学びます。

◆第5回(11/20):アドバイスを力にする

プレゼンテーションを行い、協働事業の専門
スタッフからアドバイスを学びます。



新規利用登録団体紹介

■NPO法人日本スポーツメディア
トレーナー協会

スポーツ界におけるメディア・トレーニング(新
聞やテレビには、文字数や秒数と言った制限の
中で、マスコミの編集を理解し、アスリートが
「伝えたい内容」を「視聴者・読者」に的確に届
けるスキル)の普及やスポーツメディアトレー
ナーの育成及び資格の認定、スポーツメディア
トレーナーの派遣を通じて、社会に貢献するこ
とを目的に設立しました。

アスリートが自分達のメッセージを社会に発信
するサポートができるよう活動していきます。
www.jsmt-sports.org/

■NPO法人CAPユニット

子どもと子どもに関わる一般市民に対して、子
どもへの暴力や虐待等の防止に有効な対策の
一つであるCAP(Child Assault Prevention
子どもへの暴力防止)プログラムを提供し、暴
力防止に関する知識や情報を知らせる啓発事
業を行っています。

子どもの人権確立と、全ての人が安全かつ健康
に暮らせる社会の形成に寄与することを目的
に、都内、東京近郊の地域の小学校、学童、幼稚
園、保育園、中学校、児童養護施設、特別支援学
校等でプログラムの提供をはじめ、子どもへの
暴力や虐待の防止に関わる関連団体や行政、
教育機関との情報交換及びネットワーク作りな
ども行っています。

www.cap-unit.jp/index.html

登録団体からのお知らせ

■NPO法人NPOサポートセンター
NPOキャリアカレッジ
就職・転職コース4期生募集

NPO/NGOに就職・転職を希望する方を対象と
した5か月間のサポートプログラム。即戦力と
して必要な知識や経験を学びます。

期間:10/4(土)~2/21(土)

会場:NPOサポートセンター
(中央区銀座8-12-11)

説明会:9月24日(水) 18:30~
9月27日(土) 9:30~

http://npo-sc.org/NPOcareer_college/

■NPO法人トリトンアーツネットワー
ク
ライフサイクルコンサート
630コンサート~充電の60分~

仕事帰りに第一生命ホールで2人のグルーブ
に酔いしれる夜を!

日時:10月22日(水) 18:30~19:30(予定)

会場:第一生命ホール

出演:本田雅人(サクソ) 佐山雅弘(ピアノ)

www.tritonarts.net/ja/concert/2014/10/22/
1233/

■中央区森の応援団
中央区の森 檜原村で知る、
見る、視察ツアー
参加者募集中

「中央区の森」のある檜原村の魅力や、参
加者の所属団体が檜原村へ訪れていただくこ
とを目的とした視察ツアーです。

檜原村の自然や文化、村の方々とふれあいを
とおして、環境を守る事の大切さを学ぶ機会
を提供するとともに、地元ガイドが同行し、「中
央区の森」「都民の森」を案内します。

実施日:11月9日(日曜日) 7:30~18:30(予定)

集合場所:中央区役所正面玄関前

www.city.chuo.lg.jp/kankyo/seisaku/chuono
mori/_user_kdkansu_time_20140804.html

登録団体の皆様からのイベント情報
を募集しています。

※紙面やスケジュールの都合で掲載できない
場合がございます。ご了承下さい。

協働マガジン



Kyodo Station Chuo

新たな出会い、つなげる“秋”

協働ステーション中央を「コラボバ」として発信!

7月24日(木)、市民活動交流サロン、「未来の連携相手に出会える
コラボバ——地域で連携する魅力」を開催しました。

協働ステーション中央が受けている年間200件以上の各種相談の
うち、半数以上は「協働相手を探している」という相談です。また、
中央区内には、協働ステーション中央のように、地域の課題をビジ
ネスの視点で解決を目指す“ソーシャルビジネス”の創出や地域と
つながるマッチングの機会を提供している拠点(コワーキングス
ペースやシェアオフィス等)が多数あります。

今回の市民活動交流サロンでは、その拠点を「コラボバ」(コラボレ
ーション(協働)をコーディネートする場所)と名付けて、新たな協働を目
指している方や関心のある方の情報交換の場として提供しました。

ゲストとして、銀座エリアの「LEAGUE(リーグ)」の児島絵里子さ
ん(UDS株式会社)、日本橋エリ
アの「Social Business Lab(ソー
シャルビジネスラボ)」の柚木理
雄さん(NPO法人芸術家の村)
の2人のコーディネーターを迎
え、「人と人」をつなぐ魅力につ
いて、ご自身の関わったきっか



けを含めて熱く語っていた
できました。

当日は豪雨にもかかわらず
約60名の方が参加し、熱気
あふれる「コラボバ」とな
り、参加者は互いの活動紹
介や情報交換をしながら、
次につながる交流の場とし
て出会いの輪を広げていま
した。



協働“力”アップ講座 9/25~11/20

「相手に伝わる企画が“書ける” 周りを本気にさせる企画づくり」
協働のマッチングに大切な相手に伝わる企画が“書ける力”を
アップするチャンスです。企画づくりへの思いがあり、相手に伝わ
る企画のポイントを知りたい方に最適。講座では、地域の課題解
決につながる提案書を作成します。希望者には協働を想定して
いる相手の関係者と相談する場も設定する予定です。この機会
に実践を通じて相手が共感する企画づくりを学びませんか。
http://chuo.genki365.net/news/hp0001/index00980000.html

まちの市民活動紹介

コワーキングスペース
茅場町 Co-Edo (コエド)

Co-Edoは、「勉強会主催者が使いやすいコワー
キングスペース」というコンセプトで、懇親会
付きの勉強会やワークショップ、ハッカソン、も
くもく会、集まるだけのミートアップ、朝活、ラン
チ会など様々なスタイルの勉強会を積極的に
開催しています。
利用者は、web系のエンジニアが半分ほど。茅
場町のオフィス街にあり、wifiを利用できる場所
を探している在勤者や、茅場町駅の案内を見て
立ち寄る方もいらっしゃいます。
オーナーの田中弘治さんは、IT系の勉強会の主
催や、他のオープンスペースカフェなどを利用
した経験から、利用者の交流から創出されるも
のを間近で見ることができるコワーキングス
ペースに価値を置いており、利用したいときに
立ち寄れるドロップイン(一時利用)を中心に運

営しています。社内とは違うスペースで集中し
て作業したい時や異業種との交流を求めている
方がいらっしゃいます。

www.coworking.tokyo.jp
blog.coworking.tokyo.jp/
www.facebook.com/
CoWorkingSpaceKayabacho

中央区新川1-3-4 PAビル5階
東京メトロ東西線・日比谷線茅場町駅3番出口
から徒歩2分
運営:(株)ダイレクトサーチジャパン
www.direct-search.jp/



行政×NPOの協働まちづくり事例
川崎市がNPOと協働でめざす
「ダイバーシティのまちづくり」

2014年7月、川崎市はNPO法人ピープルデザ
イン研究所(東京都渋谷区)と「まちづくり包括
協定」を締結しました。同市がNPO法人と協定
を結ぶのは初めてです。
連携・協力する対象は「心のバリアフリーの意
識の普及啓発」、「多様な人々が自然に混ざり
あうまちづくりの推進」、「次世代へ向けた持続
可能な地域づくりの推進」の3分野。
8月には企業と連携し、音を振動で体感できる
システムを導入した映画を上映、今後はス
ポーツNPOと連携したフラインドサッカー体
験なども展開し、市制100周年を迎える2024年
までに「ダイバーシティ(多様性)のまちづくり」
の実現をめざします。
(関連サイト)
http://www.peopledesign.or.jp/project/
kawasaki/

協働マガジン 9

協働ステーション中央は、(特活)NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。

協働ステーション中央

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

TEL: 03-3666-4761 FAX: 03-3666-4762

E-mail: info@kyodo-station.jp

中央区社会貢献活動情報サイト: http://chuo.genki365.net/

開館時間: 火曜~日曜 10:00~19:00 ※会議室の利用は 9:00~21:00 (要予約)

休館日: 月曜、年末年始、施設点検日

交通 駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。
東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」4番出口徒歩3分。江戸バス北循環「小伝馬町駅」下車徒歩4分



1 平成26年度協働提案事業特集〔2〕

協働ステーション中央では、区と社会貢献活動団体との協働を実現する協働提案事業のコーディネートを行っています。今年実施の4事業を順次ご紹介していきます。

「良書読み合い・語る会」読解力・表現力向上委員会

提案団体：NPO法人国際朗読ことば協会
担当部局：教育委員会事務局図書文化財課

この事業は、昨年度からの継続事業として、朗読を通して子どもたちに本を読むことの楽しさや本の大切さを感じてもらおうとともに、子どもたちの「読解力・表現力」を高めるために参加体験型の朗読講座を実施するものです。今年、8月2日(土)、23日(土)に、「夏休みにプロのアナウンサー達が教える 第二回朗読ことば劇場」を開催しました。



1年目の改善点を反映し、対象年齢の幅を広げたり、保護者の参加を呼びかけたことで、より満足度の高い事業となりました。最後に図書館のサービスの紹介など、保護者にも参考になる講座を組み込んだことで、今後の図書館利用の周知につながりました。これは、担当部局にとっても協働事業の大きな成果と言えます。

団体の協働提案事業期間は、2年間(平成25～26年度)で終了しますが、今回の結果を踏まえ、協働ステーション中央では、担当部局の事業として継続につながるようにサポートをしていきます。



2 協働ステーション中央による協働マッチング事例紹介

夏休み親子交流企画! 「もんじゃ&お好み焼き教室」開催 日本橋パパの会×ブルドックソース株式会社

8月24日(日)、日本橋社会教育会館の調理室で、同世代の子どもを通じた出会いをきっかけに、「仲よくなる、助けあおう、地域とつながろう」をキーワードに活動している「日本橋パパの会」(協働ステーション中央利用登録団体)と、ブルドックソース株式会社(日本橋兜町)の協働による、2回目の「親子料理教室」が開催されました。昨年、協働ステーション中央のコーディネートによってつながった両者。その後も自主的に調整しながら日本橋地域での開催に広がっています。今回は受付開始から申し込みが殺到し、あつ

という間に定員が埋まるほどの人気企画に成長しました。同じ地域の食品企業のブルドックソース株式会社が、「食育」を支援する地域貢献。機材や商品の試供をはじめ、新入社員が作り方の実演をしながら地域の親子と交流するなど、盛りだくさんでした。参加した親子は、美味しい料理法のポイントを教わりながら、中央区名物のもんじゃ焼きやお好み焼きを楽しみました。新しい仕掛けも盛り込み、さらなる形に発展しそうな企画です。



協働ステーション中央では、行政や他の組織とのマッチングを希望する団体からの相談も受け付けています。まずは相談からです。お待ちしております。
http://bit.ly/kyodo_papabul

協働ステーション中央では、区内企業の多様な地域貢献活動について、担当者に取材をしています。今回は、日本橋三越本店に昨年誕生した有志のグループの取り組みから、中央区の地域だからこそできる地域貢献について伺いました。

企業取材 第7回

日本橋三越本店
ミライプロジェクト「街と共鳴する」グループ

■「日本橋流のおもてなし」を創出するミライプロジェクトの取り組み

文化・歴史に長けた「日本橋」が、より賑わいのある楽しい街になることを目指し、有志の社員約50名が参加する「ミライプロジェクト」を行っています。特に「街と共鳴する」グループでは「文化的なモノ・コトによるおもてなし」を「地域の連携」によって街のチカラとなるような様々な共鳴企画を進めています。今回はそんな中から、日本橋めぐりツアーを紹介したいと思います。



街と共鳴するグループのメンバー

■日本橋めぐりツアーによるおもてなし
きっかけは、江戸の架け橋! 日本橋めぐりの会を企画・運営している川崎晴喜さんからの声掛け。今年3月、九州から会社の社員旅行で約300名の方の案内をすることになったそうで、「さすがに案内しきれないので、日本橋の案内を一緒にしてほしい」と協力依頼を受けたことです。私たちのグループのメンバーが、川崎さんをはじめ、プロの案内役から事前に名所のスポットの案内の仕方を事前に指南を受けながら、協力して日本橋めぐりをサポートしました。案内を通じて、改めて日本橋という地域が持つ文化・歴史の奥深さを知り、ココで働いていることに誇りと責任を感じる事が出来ました。

■「カルチャーリゾート百貨店」の実現に向けて

今年3月、日本橋三越本店は「カルチャーリゾート百貨店宣言」を発表しました。これは、ファッションとしては捉えきれない「格好よさ、美意識」などを伝え、「風情、究み、敬意」などのかたちのないものを商品化することで、不可能な出会いや、あり得ない出会いを実現して日本一楽しめる店、遊べる店を目指す



「日本橋めぐりの会」川崎さん(右から3人目)と。

ものです。その実現に向けて、こころざしを共にする、すべての人々と力を合わせていきます。これからの日本橋をアピールするため、このグループとしても、地域の皆さまと協働して、新しい取り組みを創出していきたいと思っています。

日本橋三越本店
カルチャーリゾート百貨店宣言
mitsukoshi.mistore.jp/store/common/sengen/index.html

江戸の架け橋! 日本橋めぐりの会
www.nihonbashi-meguri.com/



三越劇場を会場に、日本橋ワーカーの交流促進も実施。

協働ステーション中央〈イベント報告〉

★十思カフェ 第37回 2014.7.17

「おうちでおいしい“こどもごはん” 子どもと一緒に楽しい家庭の食卓“簡単おうちごはん”を提案

ゲスト:吉澤 晶子 foozit代表

吉澤さんは、食を通して子ども達の心身を元気に育てたいという思いから、保育士・食育インストラクターの資格を活かして、中央区内で、様々な協働による食育セミナーを開催しています。3月8日の見本市をきっかけに始まった「おにぎ隣人まつり」では、親子でも会話をしながらできる「おにぎり」づくりを通じて、子ども達が「食」に対する関心につながるような機会を提供。登録団体の日本橋パパの会と連携した「父子の料理教室」など、協働ステーション中央を活用した活動内容(協働マガジンvol.8で紹介)を熱く語っていただきました。子どもと一緒に楽しく作る「おうちごはん」の簡単レシピ紹介や、鯉節削りの体験もあり、ランチ時間の地域交流として大いに盛り上がりしました。



★十思カフェ 第38回 2014.8.21

「伝える」は「自分を知ること」から始まる ～五感を意識的に使った感情豊かなコミュニケーションとは～

ゲスト:大野 光一 (株)SOIL代表取締役

演劇にも精通する大野さんに、五感で感じるコミュニケーションの手法を学びながら交流をしました。自分が話すとき、何かを伝えたいとき、無意識に使っている五感を実感する様々な体験をたっぷり味わいました。それぞれの意図と意味を理解しながら行うことで、共通体験をしている参加者同士が打ち解けあう姿が印象的でした。二人一組になり、直観で感じた相手の特徴を言い、それに直観で応える「自分を知るワーク」では、打ち解けあった後だからこそ率直な指摘に、自分で気が付かない「癖やしぐさ」、「身体的特徴」などを発見。まさに「伝える」は、「自分を知ること」から始まる」を実体験する機会となりました。

